

# 学ぶ場の設計、学ぶ場の風景

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2019年06月07日 ～2019年06月16日	フィンランド	アールト大学	・システム理工学専攻、 環境システム学科、建築 学科 ・学部3年生、学部4年 生、学部2年生	(芝浦工業大学) 学生15名、TA2名、教 員2名 (アールト大学) 教員6名、職員1名	松下 希和(環境システム 学科)、山代 悟(建築学 科)



図1

本プログラムは学ぶことを刺激する環境はどういうものなのかを探ることをテーマとした。ワークショップが行われたアールト大学は、フィンランドを代表する建築家、アルヴァ・アールトがキャンパスを設計したオタニエミ工科大とヘルシンキ商科大と芸術大学が近年に合併して設立され、それを機に新校舎も建設されている。学生たちはキャンパスの成り立ちや運営について専門の先生方から講義を受け、グループごとの現地調査を通して、現代の学びの場にふさわしい場所を発見した。最終成果物として、グループのテーマについて分析、図面化し英語で発表した。調査能力だけでなく、得た知見を伝える表現力も重視したワークショップとなった。